



むさし台

令和4年6月30日

No. 4

府中市立武蔵台小学校

校長 南條 吉男



<http://www.fuchu11s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

「七夕」の願い事

校長 南條 吉男

7月7日の七夕は、夜空に美しく流れる天の川をはさんで光る牽牛と織女が、年に一度、帝に許されて会うことができる日です。人日(じんじつ 1月7日)、上巳(じょうし 3月3日)、端午(たんご 5月5日)、重陽(ちょうよう 9月9日)とともに五節句の一つにも数えられます。

今から、数千年ほど昔、天帝の姫の織女星は、機を織るのが役目の星でした。これに対して牽牛星は農地を耕し、穀物を作る役目でした。2人とも、たいへんな働き者でしたが、2人が結婚すると仕事を怠けるようになり、帝は怒って2人を引き離しました。そして、「1年に1度だけ会うように。それは7月7日の夜だけだ。」と言いました。こうして、2人は1年に1回だけ会うことになりましたが、雨が降ると会えないと言われていました。

ではなぜ、七夕の日に願い事をするのでしょうか。これは、乞巧奠(きこうでん)という中国の風習に由来するようです。7月7日の織女星にあやかり、中国では、機織りや縫製が上達するようお祈りする風習が生まれました。やがて、縫製だけではなく芸事や書道、そして現在では様々な願い事をする風習が広がったということです。最初は、織女星(織姫)にあやかっただけで願い事をしていただけでしたが、時と共に、いろいろな願い事をするようになりました。また、笹に願い事を書いた短冊を下げて飾る七夕飾りは、江戸時代に寺子屋で学んでいた寺子たちが、習字が上達するようにと、短冊に書いたのが始まりとされています。

今年の七夕、武蔵台小学校の子ども達は、どんな願い事をするのでしょうか。私の今の願いは、やはり、新型コロナウイルス感染症の完全収束により、子ども達に安全な教育環境を提供することです。そのために、もうしばらくは、感染症拡大防止のため、各ご家庭にご協力いただくことがありますが、どうぞよろしく願いいたします。

《 7月の詩 》

じゃんけんぽん

さわがに よしお

こいし あいてに

じゃんけん したら

じゃんけん チョキ

あっちは グー

いつもまけ やれやれ

もみじ あいてに

じゃんけん したら

じゃんけん チョキ

あっちは パー

いつもかち ほしい

なかま あいてに

じゃんけん したら

じゃんけん チョキ

あいこで チョキ

チョキ・チョキ・

チョキ・チョキ・

きりがなし

出典 のはらうた